



三中だより

令和 5 年 9 月 5 日
9 月号
調布市立第三中学校
chofu3@chofu-schools.jp

～ とにかく暑かった夏が終わる ～

副校長 吉岡 正元

2 学期がスタートしました。今年の夏も全国的に猛暑にみまわれた暑い、熱い夏でした。保護者の皆様には、夏休みに入ってから三者面談にご協力いただき感謝申し上げます。1 学期の反省や課題、これからの学習面や生活面について実りのある話し合いができたことと思います。

部活動も暑い中、練習や練習試合、公式戦等で表彰されるなど、多くの部活で頑張っていました。幸いなことに熱中症等の症状で、救急搬送されるような事態は起こらず、安堵しております。本当に良かったです。

2 学期の初日は、9 月 1 日の「防災の日」に合わせ、防災訓練（避難訓練・引き取り訓練）を行いました。多くの保護者の方々に引き取り訓練に参加していただきありがとうございました。学校では、避難訓練は毎月 1 回行うことになっています。1 学期は、雨天が重なり、校庭への避難ができず、放送での講話などが中心となっておりました。今回は、夏休みを挟んでの久しぶりの校庭への避難となりました。避難の様子をみていると、静かに避難に集中し、尚且つ、早い時間で校庭に避難し、整列、点呼までスムーズにできたので安心しました。暑い日ではありましたが、講話を最後までしっかりと聞く態度が良かったです。

今回の避難訓練での私の講話は、大正 12 年 9 月 1 日に「関東大震災」という、日本の地震災害史上最大の被害を受けて、多くの犠牲者がでたこと。今年で、ちょうど 100 年目を迎えたこと。そして、その「関東大震災」の悲劇を忘れないことと、この日をきっかけに、国民全員に、改めて防災に対する意識を高めることを目的として、9 月 1 日が「防災の日」と定められたこと。生徒の皆さんは、今日をきっかけに改めて防災に対する危機意識をもって安全に生活すること等の話をしました。

避難訓練の目的として、災害発生時に自らの命を守るための実践的な訓練を通じ、生徒自身が安全を確保する適切な行動を取る、ということが挙げられます。次回の避難訓練も、同様に集中して取り組んで欲しいと思います。また、実際に大災害が起きた場合、自分の命を守ることが最優先ですが、自分の身の安全が十分に確保できたうえで、中学生であれば地域の人たちの安全も考え、自主的に行動を起こす姿が望まれます。地域の人たちも中学生の皆さんの力に期待していると思います。そのためには、普段から防災に関する知識を身に付け、関心をもつことが必要となってくるでしょう。

2 学期は、合唱コンクール、修学旅行、校外学習など多くの行事があります。生徒の皆さんも、健康・安全に気をつけて、一つ一つの行事にしっかりと取り組んで欲しいと思います。保護者の方々のご協力も必要になることもあるかと思います。長い 2 学期が始まりますがよろしくお願いします。

教育目標 自他を思いやる、心豊かな人

教育目標 自ら学び考え、向上しようとする人

2年生 職場体験

7月5日～7日に2年生が職場体験を行いました。近隣の飲食店、商業施設や事業施設などに出向き職員の方々に指導のもと、実際に就業体験をしています。2年生は事前学習で各事業所について調べたり、職場体験の前に挨拶に行ったりしています。また、職場体験終了後はお礼状も出しました。コロナ禍においては実施できなかった行事であり再開を嬉しく思うと同時に、今年度の実施にあたりご協力頂いた各事業者様に感謝申し上げます。



洪水被害を想定した避難訓練

本校では洪水被害を想定した避難訓練を年に一回行っています。今回は実際に避難する代わりに、避難場所である第二小学校までの経路を画面に映し出して確認しました。夏休み前に行われた今回の訓練では、在宅時に災害が起きた場合の対応についても講義がありました。



小学生向け三中説明会

7月14日学区域の小学校(布田小・第二小・染地小・杉森小)の6年生生徒が三中を訪れました。生徒会役員が中心となり中学校とはどんなところか、三中の特徴などをクイズや劇を交えながら説明しました。説明の後は本校生徒が校舎内を案内し、小学生に校舎を見学してもらいました。小学生からの質問に丁寧に受け答えをする本校生徒に「さすが三中生」と感じさせる行事となりました。

